



## 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について(3)

全国学力・学習状況調査の結果の分析の3回目です。今回は児童質問紙調査の中から、情緒の安定や自己有用感に関する質問の結果について、紹介します（「学校での学習について」は次号で紹介します）。国語と算数の教科の学力だけでなく、子どもたちの学習への取り組み方や生活の状況について調べる児童質問紙調査も併せて実施されます。例年、紙の冊子を見ながら、用紙に回答する形式ですが、今年度はタブレット端末を利用した調査でした。学習や生活の状況と学力との相関関係を調べることも目的の一つです。



### \*情緒の安定・自己有用感等について\*

| 質 問                          | 鹿小(昨年度)     | 全国(昨年度)     |
|------------------------------|-------------|-------------|
| 自分には、よいところがあると思う             | 88.2 (70.6) | 83.5 (79.3) |
| 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う    | 88.2 (76.4) | 89.8 (87.1) |
| 将来の夢や目標を持っている                | 87.1 (79.4) | 81.5 (79.8) |
| 友達関係に満足していますか                | 94.6 (なし)   | 90.3 (なし)   |
| 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある      | 94.6 (なし)   | 91.0 (なし)   |
| 人が困っているときは、進んで助けている          | 89.3 (87.2) | 91.6 (88.9) |
| 人の役に立つ人間になりたいと思う             | 95.7 (93.2) | 95.9        |
| いじめは、どんな理由があってもいけない          | 98.9 (95.1) | 96.9 (96.8) |
| 困りごとや不安なことは、先生や学校にいる大人に相談できる | 64.6 (68.6) | 68.5 (78.1) |

自分の良さに気づき、それを認めることができること（自己肯定感）は、これまで低い傾向がありました。今年度、「自分に良いところがあると思う」に対して肯定的な回答をしている児童は、全国平均でも昨年度より増えているようです。鹿小の子どもたちも、大幅に増えています。友だち関係に満足し、日常において幸せな気分になることがあると感じている本校の児童は、全国平均と比べてもずいぶん高く、情緒面で安定している児童が多いと推察できます。先生に認めてもらっている、と思うことができている児童の割合でも同じ傾向が見られます。身近な大人に褒められ認められることが、子どもたちの自信と自己肯定感を高めているのだとあらためて感じました。



一方で、悩みを先生や学校の大人に相談できると感じている児童の割合は、全国でも本校においても、昨年度より下がっています。4月末の調査ですので、主に昨年度までの経験で回答しているのも、今後、子どもたちからの信頼を高め、気楽に相談できる関係づくりを行い、今年度末には、この質問への肯定的な回答が高まるようにしていきたいと思えます。

# 運動会運営や内容についての見直しについて

すでにお知らせしているとおり、10月21日(10月の第3土曜日)に運動会を開催します。今年度以降は、市内の全小学校が午前中開催となります。正式なプログラムは10月に配布予定ですが、主な内容は、以下のとおりです。



様々な意見や議論はありますが、コロナ禍を経て児童の負担や学校の働き方改革を鑑み、学校行事の在り方についての見直しが求められています。

「行事を通して子どもは大きく成長する」との思いから、学校は、これまで大事にしてきた行事を簡単に縮小したりなくしたりすることにはむしろ消極的でした。特に、運動会は、「大きな大切な行事」との自負とやりがい、保護者からの期待もあって、練習時間や種目内容が肥大化する傾向があり、少なからず教員や児童の負担となってきたことは否定できません。例年の教職員間での議論では、「子どもたちのために」、「やっぱり、大事だから」、「意義あることだから」、「これまでずっと続けてきたことだから」と多くの教員が口にし、逡巡してきました。しかし、運動会は、熱中症の危険や児童の体力的な負担など児童の命と安全に直結する行事です。見直しは避けられませんでした。また、学習指導要領では、運動会は体育的行事として位置づけられており、学習指導要領の内容や文科省が定めている授業時数と学習指導計画にもとづいて、適正範囲内の練習時間数と当日の運営やプログラム内容にしていく必要もありました。`午前中開催、という時間上の制約もありました。

今年、1学期から8月いっぱいまで、運動会のプログラム内容や運営方法について、時間をかけ議論し検討してきました。見直す中で、「鹿小らしさ」や特色をどこまで残し生かせるかが議論となり、応援団児童や応援団担当教員の負担に配慮しながら、全校児童で取り組む応援合戦と縦割り班を活かした全校競技については復活させることとしました。走力のみで結果が影響されない競技を工夫することにも努めました。

当日の運営についても、これまでの形を踏襲するのではなく変更を加えました。特に考慮したのが、いつもお手伝いいただいている育友会当番の負担軽減です。保護者観覧者数の制限をなくす一方、入校許可証を発行することで受付をなくし、「立ち見での観覧」とすることで観覧席確保とそのために並ぶことをご遠慮いただくことといたしました。これにより受付や観覧席確保のために並ぶ保護者の入場整理に携わる人員を最小限に抑えたいと考えました。



運動会の開催に際しては、13日配布のプリントや10月に配布する案内及び入校許可証をご覧になって、上述の見直しの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

学校長

## 開会式

- ①児童入場 ②開会の言葉 ③優勝旗・応援賞返還
- ④学校長始めの言葉 ⑤児童代表始めの言葉
- ⑥始めの体操 ⑦エールの交換

## 閉会式

- ①児童整列 ②得点発表 ③優勝旗授与 ④応援賞授与
- ⑤育友会長の言葉 参加賞・学級賞授与
- ⑥児童代表終わりの言葉 ⑦学校長終わりの言葉
- ⑧閉会の言葉 ⑨児童退場

| 開会式 |                |    |    | 閉会式 |                 |    |    |
|-----|----------------|----|----|-----|-----------------|----|----|
| 1   | 大玉送り           | 団体 | 全校 | 8   | 応援合戦            | 団体 | 全校 |
| 2   | 徒競走            | 個人 | 4年 | 9   | 徒競走             | 個人 | 2年 |
| 3   | 徒競走            | 個人 | 1年 | 10  | かごまでとどけ 1.2.3!  | 団体 | 1年 |
| 4   | 障害物走           | 個人 | 6年 | 11  | 徒競走             | 個人 | 3年 |
| 5   | ぐるぐるしばフーン      | 団体 | 2年 | 12  | 障害物走            | 個人 | 5年 |
| 6   | Let's go つなひき! | 団体 | 3年 | 13  | 落とさず運ぼうトレジャーボール | 団体 | 4年 |
| 7   | 気持をつなげて学年リレー   | 団体 | 5年 | 14  | 力を合わせて学年リレー     | 団体 | 6年 |
|     |                |    |    |     | 閉会式             |    |    |